

標 題 : Olive Oils Rich in Natural Catecholic Phenols Decrease
Isoprostane Excretion in Humans
カテコール形フェノールが多いオリーブ油は
ヒトでイソプロスタンの排泄を減少させる

著 者 : F. Visioli, et al. (イタリア ミラノ大学 薬学研究所)

掲 載 誌 : Biochem. Biophys. Res. Commun. 278: 797-799 (2000)

要 旨 :

オルトジフェノール(カテコール)構造を共有するオリーブ油のフェノール、つまりヒドロキシチロソールおよびオレウロペインアグリコンの抗酸化活性をヒトで評価するために、この研究に着手した。

オリーブ油フェノール抽出物の量を高めたとガスクロマトグラフィー/質量分析法で示されたオリーブ油サンプルを、ヒトのボランティアに投与した。

高フェノール油の投与は、酸化ストレスのバイオマーカーである 8-iso-PGF_{2α} の尿排泄減少と投与量依存性に関連した。

また統計的に有意な負の相関が、ホモバニルアルコール(HValc、COMT 系で生成されるヒドロキシチロソールの主な代謝物)と F₂-イソプロスタンの排泄の間に認められた。

従って、低いとはいえオリゴジフェノール化合物つまりヒドロキシチロソールおよびオレウロペインアグリコンの濃度を高めた油脂サンプルの投与は、8-iso-PGF_{2α}尿排泄の投与量依存性の減少をもたらした。

8-iso-PGF_{2α} と HValc の尿濃度の間の統計的に有意な負の相関から、この代謝物はヒドロキシチロソールの *in vivo* 活性を良く反映すると示唆される。

キーワード : オリーブ油、ヒドロキシチロソール、フェノール、抗酸化物、イソプロスタン、アテローム性動脈硬化、地中海食事
